

おくだいにちだけ

コース 23 奥大日岳

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成25年 8月 4, 5日(日, 月) 天候 曇り、ガス、小雨

参加者 21人 (男性 5 女性 16) グレード C上~D

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
4日秋葉区役所前		5:55	駅西口 高速に入って少し雨
大岩山・日石寺	9:05	10:05	摩崖仏は国指定重要文化財
称名平~称名滝	10:55	12:45	水量豊富でど迫力 ルートを見上げる
室堂ターミナル	13:40	13:50	日本最古の山小屋・室堂山荘に寄る
雷鳥沢ヒュッテ	15:35		温泉の宿 部屋から奥大日岳
5日雷鳥沢ヒュッテ		6:15	山は全体深いガスに覆われる
カガミタン乗越	8:30	8:40	途中雪渓登り 1カ所 登りやすい
奥大日岳	9:35	10:00	ガスの中、次々と花々に癒される
室堂ターミナル	14:30	14:45	室堂への登りのきつかったこと
秋葉区役所前	20:15		立山町の吉峰温泉で入浴

山行等概要(幹事のコメント)

- 大日小屋にコース状況を問い合わせたところ、下見の必要を感じ7月26、27日と大日小屋泊で称名平から登り、室堂へ抜けて、安全状況を確認めた。
- 大日岳~称名平・・・牛ノ首下方の崩壊した急降下は補修工事が進行し、ゆっくりと慎重に下れば安全に通過できる。
- 大日小屋~大日平・・・沢状となった急坂と7回の徒渉は小雨程度では問題ないが、土砂降り直後では問題となるであろう。
- 大日岳往復・・・今年は雪渓が遅くまで残り、ツボ足では少々危険。行かない。
- 奥大日岳~中大日岳・・・以前より所々の崩壊が進んでいて、バランスを崩して転倒すればアウト。そのうち1カ所ザイルで確保しきれないところがある。
- 雷鳥沢~奥大日岳・・・雪渓登りの1カ所は、ストック携行でクリアできる範囲。
- 以上のことから、21人という多人数ということを考えて、奥大日岳往復とした。
- 終始ガスのため肝心の剣岳の展望は0。残念。
- 7年前後に1回というコバイケイソウの当たり年で、次々と大群生が展開し、その他ハクサンイチゲ、チングルマ、シナノキンバイ、コイワカガミなどなど、約50種類の花々を数え、一同大満足。
- 東京から、横浜からの大団体、10人前後のいくつかのグループ、それら全部が奥大日岳往復のコースをとった。宜なるかなと思った。



奥大日岳(日本2百名山、花の百名山、標高2,606m)剣岳の絶好の展望台。この日は、3つの大団体が鉢合わせとなり広くない山頂がゴッタガエス。

「大日三山縦走」に参加して

(791) Y/A

「大日三山」聞いた事なかったけど、「立山だものいいに決まっている」という事で申し込みました。当日晴れる事を祈りながら、その日を待ちました。ところが、リーダーが、下見登山に行った結果、長雨などで登山道崩落が、何箇所もあり、新津ハイキングクラブでは、危険と判断され、奥大日岳をピストンする事になりました。

8月4日 晴れ わくわくする気持ちを押さえながら、集合場所へと自転車を走らせます。

富山に入るとバスの窓に雨がポツポツあたり始めました。今日は、観光で大岩山 日石寺の魔崖仏を見学、その頃には雨も上がり傘の必要もありませんでした。その後、落差日本一の350mを誇る大瀑布を見学。駐車場より歩いて20分位です。途中左手に称名平登山口があり、最初の予定では、ここに降りてくるのでした。下から見上げる滝は、豪快です。

そして、いよいよ室堂へと・・・・・・・・。何度来ても又行きたくなる室堂大好きな場所です。雄山では、登っている人達の行列が見えます。明日は私達もあんな感じだと思うと、気持ちが高ぶります。日本最古の山小屋も見て、ミドリガ池、ミクリガ池と、室堂をゆっくり散策します。歩く足元には、一面高山植物で埋めつくされています。そして今晚泊まる山小屋は、『雷鳥沢ヒュッテ』温泉です。残雪の残る立山と、明日登る奥大日岳を眺めながら、ゆっくり温泉に浸かり最高の贅沢を味わいました。

8月5日 いよいよ奥大日岳へ・・・・・・・・。ところが、外はガスで昨日まで見えていた立山も、これから登る奥大日岳も、何も見えません。空も暗く今にも雨が落ちてきそうです。雨具を着込み出発です。登り始めると見渡す限りのコバイケイソウの群落。今年は、コバイケイソウの当たり年。数年に一度見られるというすばらしい光景です。こんな群落を見るのは初めてです。

「写真タイムだよ」と、リーダーの声。カメラを向ける時間もたびたび取ってくれます。もたもたしている私には、嬉しい限りです。カッパを脱いだり、着たりと忙しい山行でしたが、高山植物の、立山リンドウ・コバイケイソウ・紅花いちご・キヌガサソウ・アオノツガザクラ・シナノキンバイ・ミヤマホツツジ・・・・・・・・等に癒され無事奥大日岳をピストンする事が出来ました。

下見で急遽ルートを変更したり、改めて見学する所を探してくれたり、ご苦労が多かった事とされます。リーダーはじめサブリーダーには感謝の念でいっぱいです。会計さん、各班長さんご苦労様でした。

追記

立山には、期待していた花がありました。花の名前は、タテヤマチングルマです。やさしいピンク色をしたチングルマです。まだこの目で見た事がありません。今回の山行で、もしかしたらという期待もありましたが、叶わぬ夢となりました。それでも、沢山の高山植物に会えてとても幸せな山行となりました。皆さんどうも、ありがとうございました。



落差 350m、4 段に折れて、日本一の壮さを誇る称名滝



コバイケイソウ（小梅形草）の群生-雷鳥沢から上った所。
山頂下方には、更なる大群生がいくつか